

張三[×]李四(チョウサンリシ)張氏の三男、
李氏の四男の意。張・李の姓は中国
に多い。身分も低く、有名でもない、
至極ありふれた人の意に用いる。

昼夜兼行(チェウヤケンコウ)昼も夜も休ま
ずに続けて行なうこと。

直情径行(チョクジョウケイコウ)径は直行
が本義(基礎編聖の項参照)。直情は
^{いつわ}偽りや飾りのないありのままの感情。
心にこうと思ったことは周囲の思わく
を考えずにまっすぐに言ったり行なっ
たりすること。

沈思黙考(チンシモッコウ)黙って深く、思
考すること。

津津浦浦(つつうらうら)津という津、浦と
いう浦すべてという意で、国中至る所
という意味に使う。

適者生存(テキシャセイゾン)生物進化論

の用語で、生存競争の結果、外界の
状態に最も適した者が生き残って繁
栄するということ。

徹頭徹尾(テツウテツビ)徹は貫徹(^{つらぬ}貫
^{とお}き徹す)の徹。頭から尾まで貫徹する
意で、最初から最後までおしとおすこ
と。

天衣無縫(テンイムホウ)天人の着物には
縫い目のような人工のあとがないの意
で、詩歌などが、技巧をこらしたあと
がなく、いかにも自然で、しかもすぐ
れているを言う。また、天真爛漫の
意にも使う。

天真爛漫(テンシンランマン)爛漫は花の
美しく咲き乱れた様を形容したことば。
天真は生まれた時の汚れなき純真さ
を言う。無邪気で明朗な様。

天地無用(テンチムヨウ)

上下を逆にしてはいけない荷物の
包装によく書かれる。天は天、地は地
にしておいてほしいという意味のこと
ばである。
無用はそうする必要がないという意
味のことばで、逆さにするなと言わず、
無用と言ったところに昔の人の心使い
の美しさを感じる。

天網恢恢(テンモウカイカイ)恢は心の大

きく広いこと。老子のことばで、このあ
とに「疎にして漏らさず」がある。天の
張りめぐらした絹は目が大きくて疎い
が、悪人を必ず取りおさえるの意。天
道は無為だが厳正であり、悪事には
必ず悪報があること。